

平成30年3月11日(日) 9:00~  
大田スタジアム

第73回JABA東京スポニチ大会  
予選リーグ1回戦

VS

王子

初回、2回と三者凡退に抑えられた打線だったが、3回、9番・新城がチーム初安打を放つが得点を上げることができない。続く4回も先頭の2番・木田がヒットで出塁するも後続が続かずこの回も点を奪えず投手戦が続く。

5回、1アウトから7番・井村が四球で出塁し8番・尾嶋が送りバント、9番・新城が四球でつないで2死1、2塁のチャンスを作るがここでもあと一本が出ず0対0緊迫した試合が続く。

7回、先頭の5番・竹内がフルカウントまで粘ってレフトへの先制ホームランを放ちついに均衡を破る！さらに6番・道端のヒット、8番・尾嶋の2塁打で2死1、3塁のチャンスを作ると、1番・吉田のタイムリーヒットでさらに1点を追加、この回2点を先制する！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	0	1	1	0	0	4	0	0	6
	得点	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
王子	安打	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

先発の三宮は初回、ヒットと四球で2死1、2塁のピンチを迎えるが、5番打者をセカンドライナーに打ち取って無失点で立ち上がる。続く2回も2死から2塁打を打たれ得点圏に走者を背負うがここも続く打者を内野ゴロに打ち取って無失点で切り抜ける。

6回、先発の三宮は先頭打者に2塁打を打たれるが、続く相手のクリーンアップを内野ゴロと三振2つに打ち取りここも先制を許さない。7回からは2番手として鈴木が登板する。

2番手・鈴木は相手に反撃の糸口すら与えない完璧な投球で2回を打者6人に打ち取る。9回からは3番手として古田が登板、わずか2球で2アウトとすると最後の打者も外野フライに打ち取って試合終了。3投手の踏ん張りでも2-0の完封勝利を収めた！

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁					
1	6	吉田	総合法人第五部	4	4	1	1			1				0.250
2	5	木田	所沢支社	4	4	1	1							0.250
3	8	宮川	上野支社	4	4	0								0.000
4	3	大野	池袋支社	4	4	0								0.000
5	7	竹内	町田支社	4	4	1			1	1				0.250
6	DH	道端	丸の内支社	3	3	1	1							0.333
	H→DH	大東	新入職員	1	1	0								0.000
7	9	井村	東京マーケット開発部	4	3	0						1		0.000
8	2	尾嶋	広域組織法人部	4	2	1		1				1	1	0.500
9	4	新城	新宿支社	3	2	1	1						1	0.500
計				35	31	6	4	1	0	1	2	0	1	0.194

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	三宮	横浜支社	○	6	23	92	3	4	2	0	0	0.00
2番手	鈴木	千代田支社		2	6	17	0	0	0	0	0	0.00
3番手	古田	立川支社		1	3	7	0	0	0	0	0	0.00
計				9	32	・	3	4	2	0	0	0.00